

# 高洲南小6年が郷土の誇り 石上清兵衛から勇気を学びました！

～顕彰会の皆さんから紙芝居で紹介～

3月9日（水）に高洲南小学校の6年生が道徳の授業で、高洲地区の偉人石上清兵衛から「勇気」について学習しました。



## 石上清兵衛の功績

江戸時代、清兵衛の住む高柳村では農民たちへの年貢米の取り立てが厳しく、不作が続いていたこともあり、農民たちは苦しい生活を送っていました。清兵衛は村の窮状を救おうと、「死を覚悟してでも、農民を助きたい」と強い思いをもって田中藩の役所で年貢の減免や検地のやり直しを願い出ました。最後は処刑されてしまいますが、村では清兵衛地蔵を祀って菩薩を弔い、明治時代には養源院に義農清兵衛の木像も奉納されました。



授業の最後には子どもたちから感想が寄せられました。



4%の減免の代わりに自分の首を差し出すなんて自分だったらできないと思いました。  
 地域の人々のために行動したことを忘れないようにしたいし、人にも伝えていきたいと思いました。



4%が100%になったとしても、自分なら無理です。  
人のためにならという信念がすごいなと思いました。



自分の命をかけてまで地区を豊かにしてほしいと、逃げないで行動したのは尊敬します。

会長の谷澤さんからもコメントをいただきました。



石上清兵衛からは人を想う心や決断力が感じられましたね。みなさんはどんなふうに思ったでしょうか。  
 今回の話を聞いて、自分が25才になったときに自分に何ができるか考えてみるといいですね。

